

(別記様式)

令和8年度 府立聾学校 学校経営計画 (スクールマネジメントプラン) ( 計画段階 ・ 実施段階 )

学校経営方針 (中期経営目標)	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
<p>&lt;学校目標&gt;</p> <p>夢・可能性・生きぬく力</p> <p>&lt;教育目標&gt;</p> <p>人と向き合い、社会とつながりながら自ら考え、伝え、行動する幼児及び児童生徒の育成</p> <p>(1) 夢と希望を持ち、自ら学び自らを高め、自らの未来を見通し切り拓く力を育む。</p> <p>(2) 高い志とユニバーサルな視野をもって、自らの能力や可能性を最大限に伸ばし、自分らしくこれからの社会づくりに貢献できる人間を育成する。</p> <p>(3) 目標を実現するため、失敗を恐れず挑戦しやり抜く意志と健康でたくましく生きる力を育む。</p> <p>(4) 礼儀と規律を重んじ、人を思いやり共に助け合い、人や社会と積極的に関わりながら共生する力を身につけ、次代を支える人間を育成する。</p> <p>(5) 自然や文化を学び、愛し、大切にすることを育てる。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ICT機器の利活用が普通の授業や発表の場、交流など、さまざまな場面で進んだ。</li><li>学部を超えた指導体制の工夫により、指導の充実に取り組んだ。</li><li>南部聴覚支援センターとの連携のもと、支援の充実や専門性の向上を図ることができた。</li><li>避難訓練を具体的な想定のもと年3回実施できた。あわせて防災給食にも取り組んだ。</li></ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ICTの悉皆・選択研修や校内の研修などで教員の研修が進んだが、教員のICT活用のスキルや意識をさらに向上させるために研修等の機会を活用する。</li><li>Teams等の活用による校務DX化を進め、働き方改革を一層進める。</li><li>広報活動の発信方法や内容を研究・工夫し、より聾学校の魅力を発信する。</li><li>教職員の専門性の向上について、新しい研究体制・研究テーマに沿って指導力向上を図りながら、あわせて教員同士のサポート体制を充実させる。</li><li>アレルギー、医療的ケア等の対応を組織的に進める。</li></ul>	<p>1 安心・安全な学校づくり</p> <p>(1) 安心して学べる教育環境を維持し、様々な教育活動の展開</p> <p>(2) 避難訓練や防災・防犯学習、安全指導の計画的な取組及び連絡・連携の強化</p> <p>(3) 安心・安全な給食・舎食の実施や校内環境の整備</p> <p>2 魅力ある学校づくり</p> <p><u>150周年を節目 (キャリア教育の充実)</u></p> <p><u>必要な体験に積み上げ、失敗しても挑戦できる力の育成</u></p> <p><u>⇒乗り越える経験の蓄積 (キャリア教育)</u></p> <p>(1) 可能性の追求 “挑戦する”</p> <p>挑戦したい気持ちを引き出す、達成の過程を支援</p> <p>(2) 知識・技能の追求 “知る、学ぶ、教える”</p> <p>指導方法、支援・手立てを磨く</p> <p>言語力、考える力、伝える力の育成</p> <p>(3) 集団・学び合いの追求 “子どもが輝ける場”</p> <p>集団と機会を創造する 個別最適・協働的な学び、本校の特色を活かす学び</p> <p>(4) 共生社会の実現を目指したインクルーシブ教育の推進</p> <p>3 魅力の「発信」</p> <p>(1) ホームページによる活動や取組の発信</p> <p>(2) 子どもの取組、本校の良さ・強みを伝える</p> <p>子どもの挑戦、異年齢集団の学び合い、指導の専門性</p> <p>4 専門性の向上 (研修・研鑽)</p> <p>手話等の技術向上、発音・発語及び教育オーディオロジーに関する研修・研鑽</p> <p>5 地域支援センター (聴覚障害のあるお子さんへの相談支援)</p> <p>(1) 3つの聴覚支援センター (北部、本校、南部) の連携</p> <p>(2) 府南部地域の早期相談支援を教育へつなぐための連携</p> <p>(3) 指導者・支援者等へ、専門性向上のための研修・支援</p>